

## コンソーシアム研究グループ活動記録

日 時： 2005年9月7日(水)～9日(金) 合宿研修

場 所： ラフォーレ伊東(法政大学健康保険組合提携施設)

参加者： 小野(東邦大学)、坂下(法政大学)、伊藤(立教大学)

内 容：

### 1. パブリック・サービス研究分科会内での発表およびフィードバック(その1)

前回までのグループ研究でまとめてきた事項について、他のメンバー全員の前でプレゼンテーションを行なうため、これまでの研究成果をパワーポイントにまとめる作業を行なった。

上記 で作成をしたパワーポイントをもとに発表(坂下)

発表に対する意見(加藤好郎氏より)

- ・ すでに周知のコンソーシアムについての事例を類型化、紹介しているにすぎないのではないか。
- ・ まだ行なわれていない人的資源に焦点をおいたコンソーシアムについての研究・発表を行なったほうがよい。それには、まだ紹介されていない海外のコンソーシアムについて調査するのがよいのではないか？

### 2. パブリック・サービス研究分科会内での発表およびフィードバック(その2)

上記1で出された意見を前提にして、どのような指針で研究をすすめるかについて検討を行なった。結果として、人的資源(人材交流・育成)についてのコンソーシアムのモデル・プランを作成した。このモデル・プランとコンソーシアム成功の秘訣(不可欠な要素)を合わせたものを提示することにし、パワーポイントにまとめた。

上記2で作成したパワーポイントをもとに発表(坂下)

発表に対する意見(メンバーから)

- ・ 人材育成グループの研究領域と重なる。コンソーシアム独自の視点(本来は経営・組織の3要素のうちの1つである「かね」の部分から、出発しているはずであるのに、コンソーシアムとしての独自性がないのではないか?)
- ・ 研修についてモデルが提示されている。しかし、私立大学図書館協会で行なわれているものと差異が見出せないのではないか?)

### 3. 今後の予定

合宿での他のメンバーからの寄せられた貴重な意見を今後の研究にどう生かしていくかを含めて今後の研究の方向性について協議を行った。それぞれの追加調査の分担を決め、9月17日(土)に再度、グループ研究を行なうことにした

以上